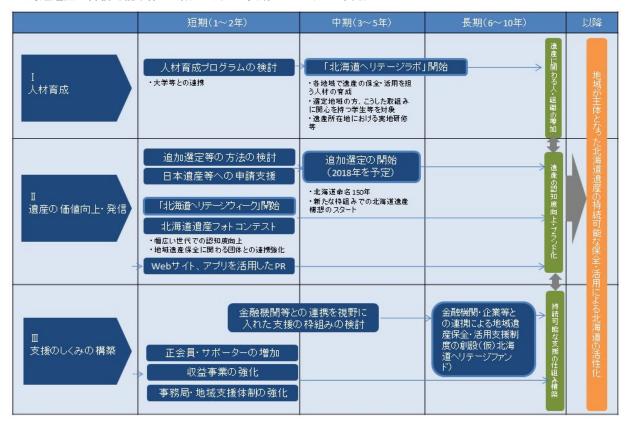
【議案第3号】

平成 29 年度 NPO 法人北海道遺産協議会事業計画 (案)

北海道遺産の持続可能な保全・活用に向けた長期ビジョン(H28 策定)



<H29 年度予算のポイント>

● 追加選定(H30年決定・発表)事業のスタート

長期ビジョンにもとづき、平成 16 年以来となる北海道遺産の追加選定を実施する。平成 30 年の北海道 150 年に合わせ決定・公表予定(北海道 150 年パートナー事業のひとつとして実施)。一連の追加選定関連事業をとおして北海道遺産について改めて知ってもらう契機とする。

● 北海道遺産所在地域への支援増

「ほっかいどう遺産 WAON」(イオン北海道、マックスバリュ北海道)、および「お茶で北海道を美しくキャンペーン」(伊藤園) による北海道遺産所在地域への助成総額を昨年の 910 万円から 100 万円増の 1,010 万円とし、更なる所在地域での取組みの活発化につなげる。

● 所在地域における PR および所在地域に足を運んでもらう企画の実施

各所在地域での北海道遺産のPR、昨年から再スタートした「北海道遺産フォトコンテスト」をはじめ、「ほっかいどう遺産 WAON」とのコラボツアー、スタンプラリーなど、実際に各地の北海道遺産を訪ねてもらう企画を実施する。

<平成 29 年度事業>

(1) 普及啓発活動事業

◆「北海道遺産公式サイトのリニューアル」

各地域の遺産に関する情報(写真、周辺情報等)や「ほっかいどう遺産 WAON」「お茶で北海道を美しくキャンペーン」によりこれまで助成を受けた地域の取組みを紹介するコンテンツの充実を図り、サイト閲覧数の増加を目指す。また、追加選定に関する特設ページを設ける。

○2,500 千円

◆「北海道遺産情報発信アプリの更新」

遺産所在地域へのナビ機能を盛り込んだアプリ。各地域へ足を運んでもらうきっかけとする。アプリの機能を活用したスタンプラリーについても実施予定。

○200 千円

◆「Web 等での情報発信と管理運営」(通年)

各地の北海道遺産をはじめとする地域遺産に関連する情報を、サイト、アプリ、twitter、Facebook などを活用して、幅広く、タイムリーに発信する。

○200 千円

◆「北海道遺産フォトコンテスト 2017 の開催」(7~9 月)

昨年度に引き続き、北海道遺産をテーマにしたフォトコンテストを実施。各地の北海道遺産へ足を 運んでもらうきっかけとする(道の駅へのチラシ設置、シーン北海道等で告知)。応募作品につい ては、北海道遺産のウェブサイトや発行物などに活用、また、媒体等への提供も可能な形をとり、 各遺産の魅力的な写真が数多く発信できる体制を整える。

○1,000 千円

◆「北海道へリテージウィーク 2017 の開催」(10/16-22 予定)

昨年度に引き続き、札幌駅前通地下歩行空間を会場に「北海道へリテージウィーク 2017」を開催する。所在地域ほかいくつかの文化遺産保全団体と連携する形でパネル展示、フォトコンテスト優秀作品展示等を行う。

○2,000 千円

◆「北海道へリテージトークラウンジ(仮称)の開催」(通年)※新規

長期ビジョンの「I人材育成」の本格実施に向けた試行として、北海道遺産、地域遺産の保存・活用に興味のある人たちの学習・交流の場として毎回ゲストを招いたトークセッションの形で年3~4回程度開催する。

○300 千円

◆「会員サービス」(随時)

協議会の活動情報、地域の行事情報などを掲載する手づくりのニュースレター「北海道遺産だより」を発行(年 3 回)、正会員・賛助会員・関係者等に送付する。昨年度に引き続き会員への年次の特典としてポストカード、オリジナル手ぬぐいを作成する。

○500 千円

◆「北海道遺産ガイドブックの購入」

北海道新聞社制作の『北海道遺産読本(仮称)』を購入、関係者へ配布する他、イベント等での販売を行う。

○500 千円

◆「その他 PR」(随時)

その他、雑誌広告等について、随時費用対効果を踏まえ適宜実施していく他、PR 用ツール(外国語表記入りパンフレット等)についても制作を検討する。

※「セイコーマートサイネージ広告(動画制作を札幌市立大に協力依頼)」など

○2,800 千円

(2) 地域活動促進支援事業

◆「北海道遺産地域活動支援」(6月~)

「ほっかいどう遺産 WAON」の寄付金により、北海道遺産所在地域における遺産保全・活用事業を募集し、計20件程度(総額900万円:100万円3件、30~50万円11件、15万円以下7件程度)の活動に対する助成を行う。また「お茶で北海道を美しくキャンペーン」による各地域への寄付(総額110万円:4件)を実施。また、実際に「ほっかいどう遺産 WAON」を持って遺産所在地域を訪ね、各地の北海道遺産を知ってもらうツアー(日帰り3コース程度を予定)開催する。

○11,000 千円

◆「北海道遺産サミットの開催」(11月)

北海道遺産選定地域、正会員、賛助会員、他関係者にご参加いただき、地域の活動報告(助成活動の報告等)、地域資源利活用の現状と課題や今後の展望について意見交換等を行う。

○700 千円

◆「将来構想検討会議の開催」(7月~)

北海道遺産将来構想検討会議を引き続き開催する。現地視察等を行いながら追加選定等を含めた北海道遺産構想の将来的な展開についての具体的な検討を行う。

○700 千円

◆日本遺産等への申請支援及び北海道命名 150 年事業支援 (随時)

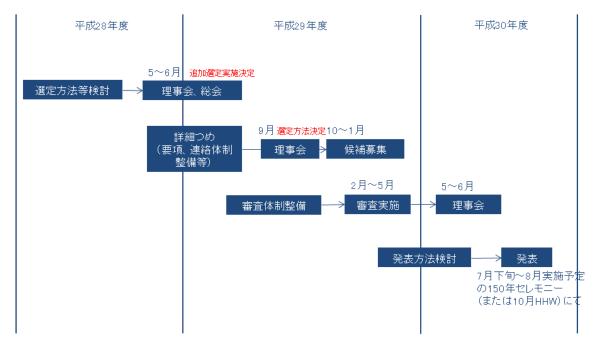
日本遺産等への申請について、所在地域等からの希望に応じて、北海道遺産協議会のネットワークを活かし、申請のために必要な支援(フォーラム開催等)、また、2018年の北海道命名 150 年事業について、必要な支援を行う。

○600 千円

(3) 北海道遺産選定事業

長期ビジョンにもとづき、平成 16 年以来となる北海道遺産の追加選定を実施する。平成 30 年の北海道 150 年に合わせ決定・公表予定(北海道 150 年パートナー事業のひとつとして実施)。一連の追加選定関連事業をとおして北海道遺産について改めて知ってもらう契機とする。

◇スケジュール案 (H29.5 現在)



○3,000 千円

(4) 保全活用推進事業

北海道遺産構想の趣旨を全道に普及する取り組みとして、平成 19 年度より応募を開始した「ほっかいどうムラの宝物プロジェクト」では、各地のムラの宝物をデータベースに登録し、公式ホームページで公開している。本データベースは、所在地エリア・ジャンル・キーワード・フリーワードで検索をかけられ、各データの詳細を見られる構成としている。

◇現在の登録数

·257件(平成28年5月現在)

◇今年度の活動

・北海道遺産全体の将来構想の検討に伴い、実行委員会は開催せず、ウェブ管理・更新のみ実施

※ (1) ~ (4) ほっかいどう遺産 WAON 寄付事業

(5) その他事業について

■会員募集について

- <会員拡大の具体的なアクション>
- ◇北海道遺産選定地域の正会員加入のお願い

遺産選定地域とより強い連携をもち、北海道遺産構想を推進するため、正会員もしくは賛助会員として入会をお願いする。

◇公共施設等へのパンフレット設置

会員関連施設、道庁赤れんが庁舎、食と観光の情報館、等へのパンフレット設置を行う。

◇イベント等でのパンフレット配布

北海道遺産関連のイベント等でパンフレットを配布する。

■正会員·替助会員一覧(平成29年5月17日現在)※順不同

◇市町村(28会員)

雅内市* / 士別市 / ニセコ町 / 倶知安町 / 豊富町 / 名寄市 / 音更町 松前町 / 遠軽町 / 足寄町 / 京極町 / 浜中町 / 増毛町 / 帯広市 上士幌町 / 中標津町 / 音威子府村 / 別海町 / 弟子屈町 / 旭川市 標津町 / 石狩市 / 上富良野町 / 小清水町 / 積丹町 / 江差町 / 下川町 黒松内町

◇団体・協会(28 会員)

NPO 法人天塩川を清流にする会 / 北海道和種馬保存協会 / 石狩川下覧櫂 一般財団法人道南歴史文化振興財団* / ダウン・ザ・テッシ・オ・ペッ実行委員会 一般社団法人余市観光協会* / 積丹観光協会* / NPO 法人ひがし大雪アーチ橋友の会音更町十勝川温泉観光協会 / NPO 法人ピアソン会 / 一般社団法人石狩観光協会えべおつ馬倶楽部 / 一般財団法人アイヌ民族博物館 / 土の博物館土の館夢里塾 / 昭和新山国際雪合戦実行委員会 / 北海土地改良区 / 十勝川温泉旅館組合認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト / 公益社団法人北海道観光振興機構NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団 / 北の縄文道民会議 / 公益社団法人北海道アイヌ協会赤平コミュニティガイドクラブ TANtan / ジンギスカン食普及拡大促進協議会北海道農業協同組合中央会 / 公益財団法人草野河畔林トラスト財団日本中央競馬会 札幌競馬場

◇企業・その他(16 会員)

福山醸造㈱ / 北海道旅客鉄道㈱ / サッポロビール㈱ / 雪印メグミルク㈱ 総合商研㈱ / 北海道中央バス㈱ / ㈱シィービーツアーズ / ㈱ファウンド 医療法人社団宮﨑整形外科医院 / オホーツク・ガリンコタワー㈱ 川崎近海汽船㈱北海道支社 / えびすけ㈱福吉カフェ旭橋本店(旭橋を語る会事務局)日本清酒㈱ / 合同会社箱バル不動産 / ㈱北海道新聞社 / 日清食品㈱

◇役員・個人(40会員)